

～3年ぶりにいろいろな活動ができました～



会員研修会

11月17日(木)児童養護施設箱根恵明学園



年末環境パトロール

12月9日(金)青少年課街頭指導員に同行していただき、藤沢駅北口南口周辺を4コースに分かれて周りました。



公民館まつり



10月15日(土)16日(日)第3談話室で射的を行いました。たくさんの子どもたちが遊びに来てくれました。

2022年度鶴沼地区青少年育成協力会

運営委員

- 会長 手島 暁子
- 副会長 古川 京子
- 高島 知佐
- 会計 高崎 裕子
- 福島 裕子
- 書記 三浦 雅子
- 寺田 言子
- 育成部会長 和田 まや子
- 環境部会長 上延 悦子
- 広報部会長 宮本 敦子
- 事務局：鶴沼市民センター

編集後記

コロナ禍の影響などもあり、暗いニュースが続いている昨今です。そんな中でも元気づけてくれるのは、子どもたちのはつらつとした姿です。ほんとうに子どもたちの力は大きな支えです。

地域の中で子どもたちとのふれあいを通じて、その成長していく姿を見守る活動が続いていきますように切に願っています。

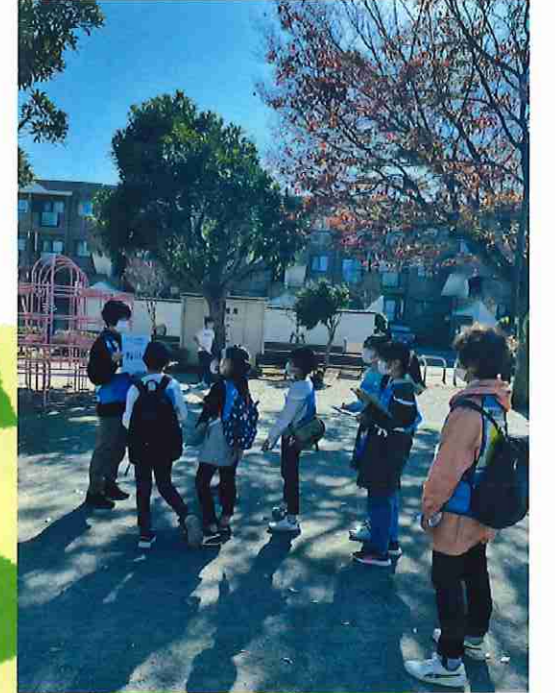
(K.F)

くげぬまの輪

鶴沼地区青少年育成協力会

第40号

発行日 2023年3月25日
 発行 鶴沼地区青少年育成協力会
 発行者 手島 暁子
 編集 広報部会



※ウォークラリーとは、暗号のようなコース図を頼りに歩き、途中いくつかのポイントで問題に答えながらゴールまで進むゲーム

ウォークラリー

11月19日(土)さわやかな秋晴れの下、51名の子どもたちが8グループに分かれ、いろいろ探したりクイズに答えながら、鶴沼の街を歩きました。



※写真の掲載は、行事参加募集の際にご了承いただいております。

「えがお、あいさつ、まなびあい」

～こどもの学びに火をつける教育活動の推進～



鵜沼小学校 校長 中村 浩

鵜沼地区青少年育成協会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。また、鵜沼地区全体のこどもたちの健全育成にもご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

鵜沼小学校は「心豊かでたくましく生きるこどもの育成」を学校教育目標とし、重点項目に「えがお あいさつ まなびあい」を引き続き掲げています。そして、私が校長として掲げたサブタイトルは「こどもの学びに火をつける教育活動の推進」です。

重点項目の「まなびあい」とは人と関わり合いながら学ぶということです。自分の考えを持ち、多様な友だちの考えを聞いて、自分の考えに自信が持てたり、修正してさらに良いものになったりする過程は「学校という場でしかできない学び」です。

しかし、「まなびあい」には必然性が必要です。それにはこどもの知的好奇心に火をつけることです。すると、もっと知りたい、もっとやりたい、もっと考えたいというこどもの中に必然性が生まれます。そしてその先にさらに進んでいくには、自分だけの考えでは限界があり、多様な考えを持つ友だちとの「まなびあい」でしかそれをこえていけません。

同じことが地域でも言えるのではないのでしょうか。自分の親以外の世代をこえた多様な大人からこどもが学ぶことはたくさんあります。しかし、関わり合いのない

人から学ぶのは難しいことです。その関わり合いの第一歩が「あいさつ」だと思います。

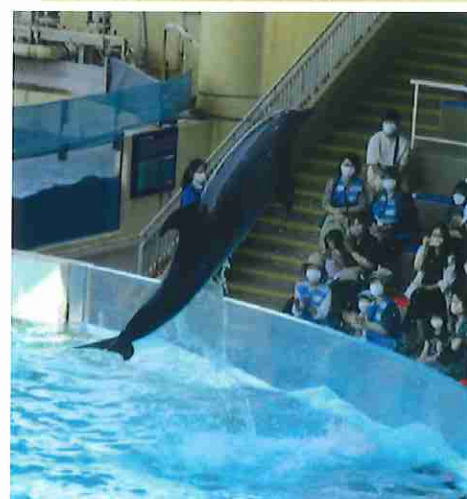
私が鵜沼小学校に着任して4年になります。新型コロナウイルス感染症対策が続く中、青少年育成協会の皆様の活動を垣間見させていただき感じたことは、この地区のあたたかさ、人と人のつながりの広さや深さです。あたたかい笑顔と「あいさつ」でこどもたちの安全を見守ってくださる方々に校長として大変感謝しております。そんな地区で育つ鵜沼小のこどもたちはとても恵まれているなど実感しています。

新型コロナウイルス感染症のために、様々なイベントや地域行事ができないのは大変残念なことです。これらの世代をこえた活動によりこどもたちは地域で育ち、また地域に貢献するようになります。学校も地域の中にあります。今後も学校と保護者、地域が連携しながらこどもたちを育て、いつまでもあたたかく、居心地の良い鵜沼地区であるよう願っています。



えのすいへ行こう！

5月28日(土)鵜沼南小学校の4年生以上を対象に新江ノ島水族館へ行きました。直接魚に触れたりイルカショーを見たりして、海の世界に魅了されました。



※写真の掲載は、行事参加募集の際にご了承いただいております。

青少協「40周年を迎えて」

青少年育成協会会長 手島 暁子

鵜沼地区青少年育成協会は、昭和57年(1982年)に設立し、令和4年(2022年)に設立40周年を迎えました。

時代は移り変わり、パトロールでは、以前は外見でわかる様でしたが、最近は、同じ様な恰好になり中々わかりません。難しい時代です。しかし、デイキャンプやウオークラリー、射的は人気で、部員も張り切っていました。

2020年に「コロナ禍」が起き、他と同様に活動は出来なくなりました。翌年から、感染の具合を見て、ウオー

クラリー等を細々と行いました。

昨年久しぶりに公民館まつりが開催され、射的ができました。地区小学校の校長先生は、引き続きお手伝いに来て下さり、又今回初めて、鵜沼中学校の校長・教頭先生もお手伝いに来て下さり、こどもたちも大喜びでした。

コロナ禍で先は見えませんが、学校・地域との関わりを大切に、地道に、そして笑顔を忘れないよう活動していきたいと思っています。

